

2018年度 日台産業協力架け橋プロジェクト採択案件一覧(6件)

	実施団体 (所在地)	商談会	セミナー	展示会	【分野】テーマ	開催地	開催時期	日本側参加 企業数
1	一般社団法人 九州ニュービジネス協議会 (福岡県福岡市)	○	○		【地域間交流】 九州地方に所在する中小企業の国際化支援を目的に「ベンチャープラザin台湾」を開催。AI,IoT等の分野において先進的な取り組みをしている企業による講演を行うと共に、台湾企業との商談会を実施する。	台北	12月	5~7社
2	一般社団法人 九州経済連合会 (福岡県福岡市)	○	○		【スタートアップ】 台湾の代表的経済政策である新南向政策、五大イノベーション計画及び循環経済をテーマに、日台連携のスタートアップ支援を、中小企業や投資家の視点から行う。台北で開催される有名展示会と併催で同一会場でセミナーと商談会を開催する。	台北	9月	20社(うち中小企業約10社)
3	一般社団法人 日本コスメティックセンター(JCC) (佐賀県唐津市)	○	○		【化粧品産業クラスター間交流】 ジャパン・コスメティックセンター(JCC)は、2016年8月に台湾ビューティーバレー(TBV)との間で協力覚書(MOU)を締結している。この度、台湾との連携によるビジネスチャンスをさらに広げるための活動を行い、日台間の貿易拡大、OEM生産、日台連携による東南アジアへのビジネス展開を目指す。	唐津 台北	8月 9月	約10社
4	一般社団法人 ブロードバンド推進協議会(BBA) (東京都港区)		○		【デジタルコンテンツ(VR/AR)】 エンターテインメント分野だけでなく様々な産業分野への利用拡大が見込まれるVR/ARに取り組む事業者を集め、ハードウェア産業としてVR/AR分野で選考している台湾企業を招聘し、日本のソフトウェアビジネスやVR/ARベンチャー等との交流をはかる。	東京	12月	100社(うち中小企業約30社)
5	一般社団法人日本デイサービス協会 (東京都港区)	○	○	○	【介護サービス】 日本は少子高齢化が先行し、様々なサービス・技術・商品の市場が発展してきた。一方、台湾は公的介護保険制度の議論も盛んに行われている状況からも明らかのように、今後急速に高齢化が進展することになり事態への対応が急がれている。台湾ではまだ始まったばかりのこの分野での日本企業の貢献が大いに期待されている。第2回日台介護産業交流サミットが東京で7月に開催される機会に日台間の事業者間のマッチングや関係者を集めたセミナーを開催。	東京	7月	約20社
6	札幌IT産業海外展開推進実行委員会	○	○	○	【IT産業】 台北市と札幌市の双方にとって基幹産業であるIT産業を中心とする経済交流を促進する。 札幌市と台北市は昨年11月に経済交流協定を締結しており、本事業の支援で台北市で開催されるCOMPUTEX展での商談会、等を行うと共に、札幌市でセミナーを開催する。	台北 札幌市	6月 10月	約5社